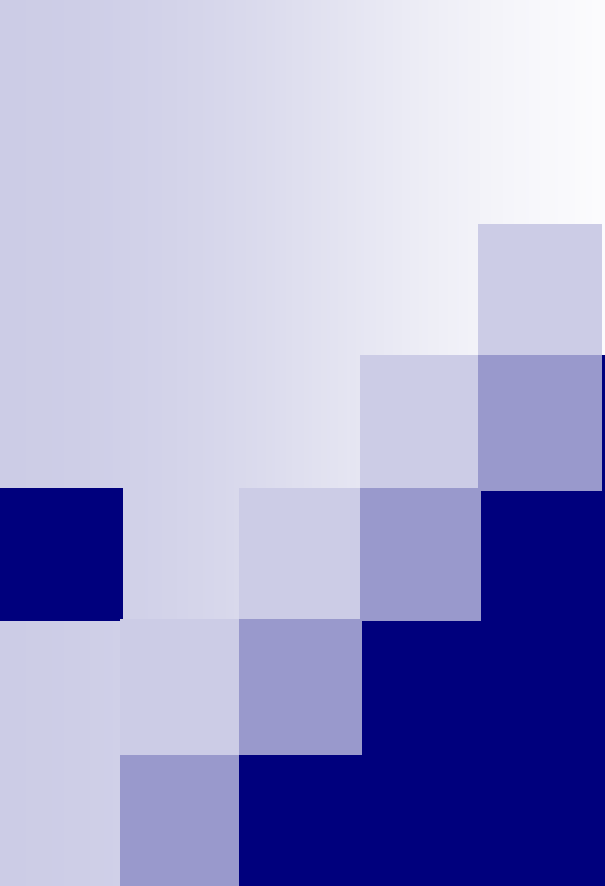




地区計画とは？

長野県下伊那郡高森町

地区計画とは①

日常生活の場である地域を自ら点検し、住みよい町にするためにはどうしたらよいかみんなで話し合い、それを実行するための計画(ソフトもハードも)

一部の声だけが反映されるのではなく、地域に住む人みんなの意見で計画する

行政だけでは気づかない身近な地域の課題にも対応する

地区計画とは②

財政支援

地区計画交付金

防犯及び交通安全推進交付金

道路維持協力交付金 など

権限

地域が地域のことを自ら決める

事業化に際し地域の優先度を尊重

人

地区計画担当職員

役場の全正規職員(課長以下、保育士含む)を21地区+3区に配置。地区計画策定に関する事務に関わる。

地区計画をなぜつくるのでしょうか

「この道路の見通しがよくなったら、ここに標識がつけられたら、この排水路が整備されたら……。」こうした問題が身のまわりにはたくさんありますが、皆さんだけでは十分な解決はできないし、行政だけでは力不足です。

〈共に考えてみたい〉

介護の問題・健康の問題・安全の問題・コミュニティの問題・ごみの問題など…
これらを町内21地区の地区計画単位ごとに見直していき、住民のみなさんの要望や考え方に合わせて、ひとつひとつ解決していくために地区計画をつくります。



「住民の皆さんとともに考え、ともに歩むまちづくり」をすすめることがねらいです。

昭和63年度からスタートした町の将来計画である第3次振興総合計画に町民の皆さんの声を取り入れ、きめ細やかな行政をすすめるために地区計画をつくりました。



【地区計画を基に住民と行政の二人三脚で作り上げます。】

地区計画の進め方

ひとりひとりの意見や要望をまちづくりに活かしていくには、地区計画の単位(町内21地区)でも広すぎます。そこで、住民ひとりひとりの意見や要望、問題点などは、常会程度の広がりごとに会合を開いて出してもらいまとめていきます。

これを地区計画単位ごとにたばねて、地区ごとの計画として練りあげていくわけです。



地区計画策定の流れ

	地区	町	備考
8月頃	地区内での要望とりまとめ		組合や常会など地域からの要望等を取りまとめます。
9月～	・地区全体の要望取りまとめ ・活動計画・施設計画(案) ・要望箇所地域見回り ・区の協議会で計画書作成	地区計画担当職員 の参加	PTAや老人クラブなど関係団体からの要望も反映します
11月	地区計画ヒアリング		地区計画書に記載された事業の担当課とのヒアリング・現地確認
12月～		予算編成	地区要望を踏まえた予算を編成します
3月		予算議決	
4月～	予算付け個所の確認		予算付けされた箇所を地域の皆さんと見回ります。
	地区計画に基づく事業実施		予算付けされた事業を実施します。地区では地元施工工事やコミュニティ事業を進めます。

地区計画策定の流れ



要望箇所地域見回り



地区計画ヒアリング



[様式1]

[様式1・総括]

P1/1

地区名	下市田2区 地区計画書
-----	-------------

(平成30年10月1日現在)				
人口:	481	人	世帯数:	160 戸

策定年度:	30年度
計画期間:	平成31年度～

この地区の現状や特徴	下市田2区は、北は下市田1区、東は下市田6区、南・西は下市田3区に隣接し、河岸段丘の上段には国道153号線、国道に並行するようにＪＲ飯田線と朝霧道路が通り、下段には河原の水田地帯に工業団地と天竜川、それに22年に全通した農免道路があり、これらの沿線を囲むようにほぼ長方形に集落があるのが特徴。
この地区の課題	※住みよい地域に向けて、上記の現状や特徴を踏まえた上で、どのような取り組みが必要なのか？ 国道153号線、朝霧道路の交通量の増加による安全対策はもとより、天竜河原における大型工業団地化及び農免農道先線改良による通行車両の変化の把握等、交通対策が課題である。また、地理的に町の下段に位置し、天竜川の河岸段丘上にあることから上流からの雨水等により排水施設の老朽化に伴う漏水問題が今後の最大課題と考えられる。

◆活動計画 ⇒どのような活動を行うのか？（課題解決の手段として）記述 / 欄が不足したら適宜追加

活動の分野やテーマ	活動の方針・目標	活動の内容 (誰がどのように行うのか？)	町の役割 (必要な支援の内容)	事業費 (必要な経費は？)	実施年度	
					31	32以降
自治会のあり方、加入促進の取り組み	・自治組織への加入促進 ・安心して暮らすことのできる自治会づくり	・地区役員による未加入世帯への各戸訪問を通じた加入促進 ・役員負担軽減等自治組織の課題解決を検討する	転入者への積極的な加入促進	円	○	○
女性や若者支援への取り組み	・女性も若者も地域の活動に参加できるようにする	・共星会（若者）への活動支援 ・明星会（女性）への活動支援	-	円	○	○
地域の高齢化に対する取り組み	・お年寄りを一人にしない。地域で孤立させない	・近所同士で声掛け、見回り活動（あさぎりサロン、民生委員の茶和会、高寿会）	-	円	○	○
地域に協力してくれるコミュニティ組織育成への取り組み	・地域住民の自発的な活動を応援する	・育成会と連携し、休耕地を利用した野菜作りを行う	休耕地の賃借料に対する助成	円	○	○
				円		

[様式2]記入例

[様式2・施設]

P1/3

地区名 **下市田2区** 施設計画書

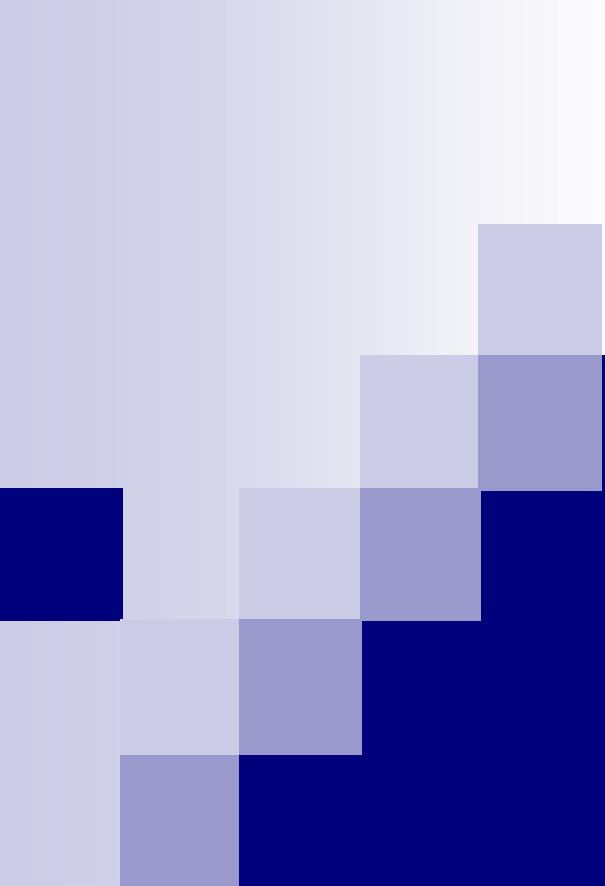
策定年度； 30年度

(計画期間； 平成31年度～)

順位	事業種別	着手区分	図面番号	路線・箇所名	計画内容	計画の目的・理由	延長・規模	幅員・数量	実施年度(○印)	実施主体	事業費(千円)	負担金発生 地域 区	備考
例	B道路維持	A以前・未着手	①	町道○△号線の高森さん宅東の辻	南側の角を取って交差点を広げる	見通しが悪く、車両衝突事故の危険があるため	3.0 m	2.0 m	31 32以降	A町			
1	A道路新設改良	B継続	A1	町道7290号線 農免農道先線	農免農道水天宮から明神橋までの拡幅改良・歩道設置	交通量の増加	510.0 m	7.0m+片歩2.0m	○ ○	A町			H30用地測量等
1	B道路維持	A以前・未着手	B1	宮下幹雄宅前～松下博人宅前	路肩及び法面の改修	路肩が崩れ始め、通行するのに危険	50.0 m		○	A町			
2	B道路維持	A以前・未着手	B2	北城上段赤線改良	陥没補修(北原洲平柿畑付近)	崩落防止	10.0 m		○	C地区			材料支給
3	B道路維持	A以前・未着手	B3	田村線 宮入宅付近	下水マンホール改修	ガツツキによる騒音	1 基		○	A町			
4	B道路維持	C新規要望	B4	塚路切西	堆積土除去	堆積土を除去し幅員を確保する	2.0 m		○	A町			
5	B道路維持	A以前・未着手	B5	下市田駅南 地下歩道	天井防水塗装の補修	塗装が剥がれている	20.0 m		○	A町			
6	B道路維持	C新規要望	B6	水天宮南	路肩の改修	路肩が崩れ始め、通行するのに危険	10.0 m		○	A町			

下市田三区住宅地図





成果と課題 そしてこれから

成果と課題そしてこれから

■成果

- ・住民の方々が、普段から地域のことを気にかけて、多くの気づきを得ることができる
- ・自分たちの地域のことを自分たちで決めることができ、それが実現することでより地域への関心が高まる
- ・地域の役員の方が交代しても、この計画があるため、続けていける
- ・地域の役場職員の顔の見える関係性、スキルアップ



■課題①

- ・計画の継続性が保たれる一方で、時代に合わない内容であっても見直しがされづらい
- ・一つの地区だけで解決できない課題や町全体で解決すべき課題への対応が難しい
(水路は下流だけが考えるもの？通学路の街灯は？
道路は地域内だけで完結するの？)
- ・行政の主体性は(道路計画・水路計画)
- ・農業を主体とした地域づくりの変化への対応
(用排水路の違いは？ 受益者って誰？)

■課題②

- ・自治組織未加入の方の想いをどう拾い上げるか
- ・自治組織未加入の方にどのように負担いただくか
(地元負担費用は自治会等が負担)
- ・自治会の人口や財政力の差や自治会面積の差などにより、事業化できる地区とできない地区ある

これから・・・

- ◆地区計画の目的の良いところは伸ばしつつ、人口減少少子高齢化や価値観の変化などを踏まえた改善ができるところから取り組んでいく
- ・地域をまたぐ課題については行政が一定の方向性を示した上で各地区計画間の調整を図る
- ・町民全体の課題について自治会加入未加入に関わらない公平な制度へ(受益者負担等の見直し)など

区長の皆さんと定期的な意見交換を実施。そこで見えてきた課題を解決するため制度の見直し等を継続していく